

情報の教養学講演シリーズ 2015年度第2回
慶應義塾大学教養研究センター主催

牛場潤一

Junichi Ushiba

5・13

脳の活動に伴って生じる物理現象を上手に情報化すると、私たちの脳が何をしているのか理解することができるようになります。スポーツ、ダンス、音楽演奏といった身体運動を脳が獲得していくプロセスや、脳卒中やジストニアによって失ってしまった脳機能がリハビリテーションされていくプロセスを科学することで、経験値や直感には合わない(けれども本質的に正しい)脳の理(ことわり)を次々と明らかにすることができます。

そしてそのことが、これまでの常識では考えられてこなかったような、全く新しい脳の訓練法や治療法の発明につながっていきます。この講義を通じて、脳と情報の関係を深く見つめていきましょう。



脳を知り
脳を治す

講師：牛場 潤一 (理工学部准教授)

日時：5月13日(水) 16:30～18:00

場所：日吉キャンパス来往舎1階
シンポジウムスペース

対象：塾生・教職員 (無料)

問い合わせ：toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

 @KeioLearning



<http://ice.lib-arts.hc.keio.ac.jp>

Designed by Freepik.com